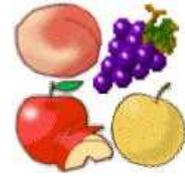


## 平成28年度 果樹情報 特別号 No.2 ～なし黒星病・ももせん孔細菌病の防除対策～ (平成28年5月27日)



福島県農林水産部農業振興課

病虫害防除所より「なし黒星病」について病虫害発生予察情報 注意報第2号が発表されました。

なし黒星病の発生が多くなる見込みなので、防除対策を徹底しましょう。

また、ももせん孔細菌病の新梢葉での発病が平年より早く確認されています。発病葉は果実等への感染源となることから、被害を軽減するために、発病葉、発病果の除去などの対策が重要です。

### 1【なし黒星病】

#### (1) 現在の発生状況

5月下旬の果そう基部での発生ほ場割合が、中通り、浜通りともに平年よりやや高く、浜通りでは発生程度も高かったことから(図1)、病虫害防除所では平成28年5月27日に注意報第2号を発表しました。

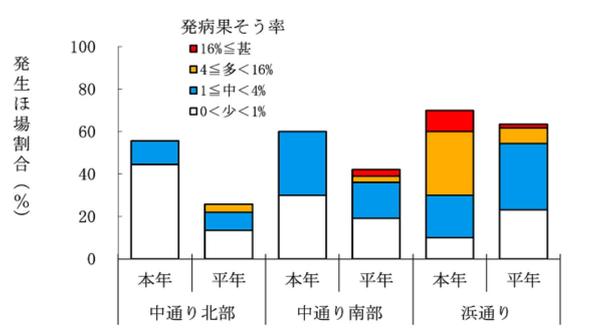


図1 果そう基部病斑の発生状況(5月下旬)

#### (2) 防除のポイント

##### ア 耕種的防除

果そう基部病斑、発病葉、発病果は見つけしだい除去し、適切に処分しましょう。また、主枝や亜主枝上の背面枝を掻き取ったり、不定芽新梢が混み合っている部位の間引きを行うなどして、薬液が十分かかるようにしましょう。



図2 果そう基部病斑

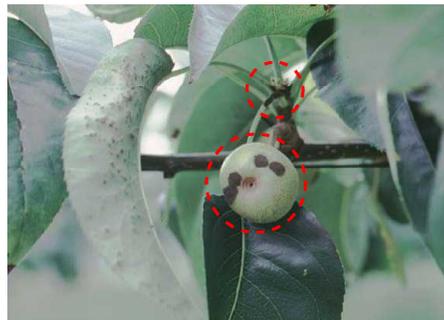


図3 幼果、葉柄の発病

##### イ 薬剤防除

発生の多い園では散布間隔を7日とし、薬剤はムラなく十分量散布しましょう。

#### 病虫害の発生予察情報・防除情報

病虫害防除所のホームページに掲載していますので、参照してください。

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>

農薬の散布は使用基準を遵守し、散布時の飛散防止に細心の注意を払いましょう。

## 2【ももせん孔細菌病】

### (1) 現在の発生状況

病害虫防除所の5月中旬の調査では、新梢葉での発病は、福島地域では一部のほ場に限られるものの平年より早く確認され、伊達地域では平年よりやや多い状況でした(図4)。

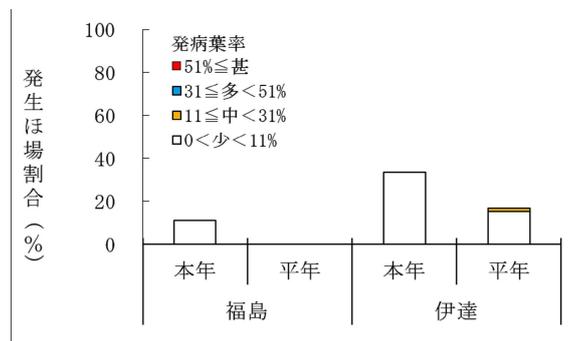


図4 新梢葉での発生状況(5月中旬)

### (2) 防除のポイント

#### ア 耕種的防除

春型枝病斑や発病葉、発病果は伝染源となるため、園地をこまめに巡回して見つけしだい除去し、適切に処分しましょう。

発生が多い園では、有袋栽培を検討しましょう。被袋作業に当たっては、早めに仕上げ摘果を終了し、被袋直前には薬剤散布を行うなど、計画的に作業を進めましょう。

また、風当たりの強い園地では、防風ネットの設置を検討しましょう。



図5 春型枝病斑



図6 発病葉と発病果

#### イ 薬剤防除

本病の病原菌は雨滴に混じって分散し、これに風が伴うと広範囲に発生が拡大します。

今後、降雨(風が伴う場合は特に注意)を重ねるごとに、春型枝病斑や発病葉、発病果等の伝染源から感染が拡大するおそれがあります。

各地域の防除暦に基づき、予防散布を基本に、降雨の前にせん孔細菌病防除剤を散布するとともに、散布間隔が10日以上開かないよう注意しましょう。また、薬剤の使用濃度、収穫前日数にも十分注意しましょう。

なお、耐性菌出現の危険性を回避するため、同一薬剤の連用は避け、ローテーションによる散布を心がけ、急激な雷雨や風雨の後は、必ず園内を観察し発病の有無を把握するよう努めましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 技術革新支援担当 TEL 024(521)7344  
(以下のURLより他の農業技術情報等をご覧ください。)

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

ふくしま新発売：以下のURLより最新の農林水産物モニタリング情報、イベント情報等をご覧ください。

URL：<http://www.new-fukushima.jp/>